

静岡県漁業協同組合連合会
1059 静岡市追手町 9-18
15.9.12 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 平成16年度水産予算概算要求額 3,382億円 前年対比14.1%増

農水省では、このほど開催された自民党農林水産部会、水産総合調査会などの関係合同部会に平成16年度水産予算概算要求を提出し了承されました。

それによると水産関係の概算要求額は、一般会計総額3,381億6,700万円と前年度予算額に比べ14.1%増加となり、平成16年度の予算要求の特徴は、「海の恵み」の持続的な利用 収益性の高い魅力ある漁業の確立 消費者の求める水産物の生産・供給 豊で活力のある「浜」づくりの四本柱を重点施策とし、新規事項を盛り込んでいます。

では、資源調査の充実と資源回復への取組強化として「資源回復計画推進施設整備」に7億8,200万円、「資源回復支援施設整備」に3億6,100万円、栽培資源ブランド・ニッポン推進事業のうち「資源回復計画促進」に2億2,000万円を新規要求。

では、漁船入手の円滑化へ担い手確保・育成漁船建造等推進を5億に拡充しました。新規に漁業運転資金融通円滑化で4,200万円、漁業の担い手の確保・育成対策総合推進事業に17億5,400万円を要求。

では、地域水産物総合衛生管理対策推進事業、HACCP導入の加速を図る水産加工体質強化事業の拡充ほか、漁業生産構造強化促進事業などに16億1,600万円を要求。

では、漁村の総合的整備を拡充するほか、都市と漁村の共存・対流で地域住民、NPOなどが一体となって進める「美しい漁村づくり対策」2億円、その支援事業2,000万円を新規に要求。

2. 「JF綱領」の普及推進を図る

JF全漁連は、JFグループの事業・組織・経営改革を推進する精神的な支柱として、去る6月25日の通常総会でJFグループの総意に基づき「JF綱領」を制定して、これを契機に今後、JFの基本的な価値・使命や運動の展開方向について、組合員と役職員が共通認識を持ち、その実現を通じJFグループの社会的認識を高めるよう内外にアピールします。このためJFグループ内各組織の事務所等にJF綱領を掲示したり、総会等の場で声を揃えて唱和するなど広く普及浸透を図ることにしています。このためJF綱領の内容を分かりやすく解説したパンフレットなども作成配布します。

「JF綱領」は前文と本文、後文からなり、中心となる本文は唱和しやすいように簡潔な文章で構成され、次のとおりまとめました。

海の恵みを享受するすべての人々とともに海を守り育み次世代へ引継ごう 食糧供給の担い手として安全・安心・新鮮な水産物を供給しよう 都市・農山村の人々と交流を深め、活気ある漁村を作ろう JFの利用・参加によって協同の成果を高めよう

自主・自立、民主的運営を基本にJFを健全に経営しよう 協同の理念を学び、実践を通じてともに生きがい追求しよう

なお、作成にあたってはJFグループ外の人からも広く意見を聴き、一人よがりにな

らないような内容としています。

3. 豊かな海づくり推進協議会設立へ

漁港と漁場の一体的整備を目的とした漁港漁場整備法が施行されるのを受け、漁港協会が漁港漁場協会に、漁港漁村建設技術研究所が漁港漁場漁村技術研究所になり、さらに、全国沿岸漁業振興開発協会が行っていた漁場開発の技術・研修部門をこの2団体と水産土木建設技術センターに移管し、同協会はこの定款の改定により、新たにつくり育てる漁業の推進を目指す「(社)豊かな海づくり推進協議会」(仮称)に改組されます。

新協議会が行う事業は、水産基本法の理念である水産資源の持続的利用の確立を通じた水産物の安定供給の確保、水産業の健全な発展のための資源の適切な保存管理、つくり育てる漁業、漁場環境の保全・改善などの重要な政策課題の実現とこれらの事業に対する国民の理解を目指します。

豊かな海づくりの推進に関する調査・研究 豊かな海づくりの推進に関する支援・指導 豊かな海づくりに関する研修、啓発・普及 豊かな海づくりに関する政策の検討、取りまとめ、提案 全国豊かな海づくり大会の推進 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 となっています。

また、これら協議会や会員の活動に関する映像資料を制作し、インターネットなどを通じて公開し、積極的な広報活動を行うほか、都道府県や漁連などの豊かな海づくりに関する意見・要望を集約し、国などの機関に施策としての提案も積極的に行う方針です。

大臣の認可により10月1日から施行され、定款、改組による目的、名称変更と、新役員の選出や事業計画などを変更するための設立に関する総会は10月9日を予定しています。

4. 口坂本の森クラブ活動の開催案内

本会では、県の指導協力を得て平成11年から口坂本の森クラブに参画し、静岡市口坂本において漁民の森づくりを実施してきました。

このほど秋の活動として、遊歩道の整備、自然観察等を行う計画をしておりますので漁業関係者の参加をお待ちしています。 開催日時：平成15年10月5日(日)午前10時より(小雨決行) 開催場所：静岡悠久の森(静岡市口坂本)、県民の森 活動内容：遊歩道整備、下草刈、自然観察会等 問合せ：県漁連漁政課 TEL：054-254-6011

5. 新刊図書紹介 「食品表示の心得帳」

食品流通構造改善促進機構はこのほど、複雑で分かりにくい食品表示のルールを簡潔に解説した「食品表示の心得帳」を刊行しました。

(独)農林水産消費技術センターが監修した同書は、食品表示についてJAS法を中心に食品衛生法、不当景品類及び不当表示防止法、健康増進法、計量法などの関係制度を網羅し、いくつもの法律にまたがって規定されている食品表示について一冊で体得出来るよう考慮されています。

問合せ先：食品流通構造改善促進機構経営指導部 TEL：03-5543-8023

5. 諸会議日程(9月16日(火)～9月29日(月))

- 既報分省略 -

9月25(木)～26日(金) 県漁連 = 平成15年度漁協組合長会議・研修会 (伊豆長岡三溪園)

9月26日(金) 県棒受鯖釣漁業組合 = 役員会 (県水産会館)